

光電センサー MaP1180PS2A/PS1A



画像刺激を行う際に、刺激タイミングと同期したトリガ信号を作るための光センサーユニットです。画像刺激用のディスプレイ上に、白と黒のマークを交互に表示させ、この明暗をトリガ信号(TTL5V)とする装置です。センサーを両面テープで画面に貼り付けて利用します。チャタリング防止回路を搭載し不要なパルスを制限した出力がA端子より、チャタリング防止回路無の出力もB端子より出力されています。前者は予期せぬ誤動作を防ぐことができます。

●仕様

光センサー	フォトトランジスター 2個 (PS2A モデル) 1個 (PS1A モデル)
スイッチング時間	10 (μ S)
チャタリング防止	不応期 20(ms) 立ち上がりと立下り、いずれの変化に対しても作動
出力	2ch×チャタリング防止回路 有・無 ⇒ 計4個 (PS2A モデル) 1ch×チャタリング防止回路 有・無 ⇒ 計2個 (PS1A モデル) BNC(J)端子、TTL5(V)
感知レベル	前面に半固定抵抗で調整可能(出荷時 60%に設定) [左廻0%⇒右廻 100% ON になるレベルで右ほど明るくなります。]
モニタLED	電源パイロットランプ:赤 トリガモニタ:緑(×2)
電源	USB ケーブルにより5(v)を供給 (ドライバーストは不要です)

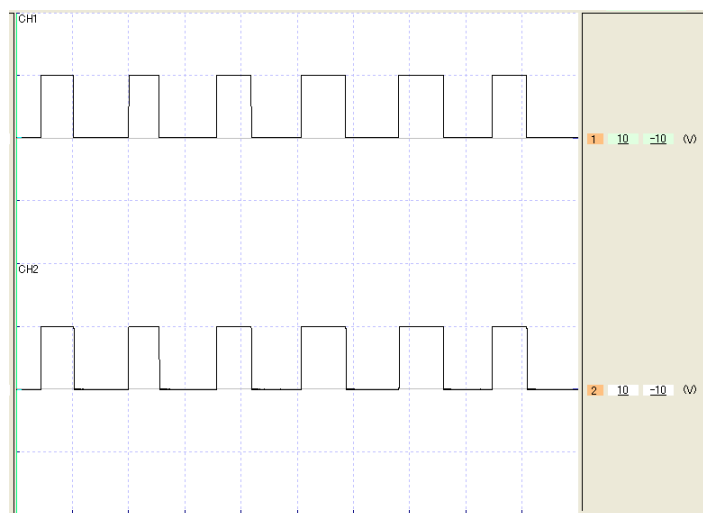


図2. 出力信号1 [X軸:10秒 Y軸:5(V/div)]
黒い時に LO (0V) 明るい時に HI (5V)

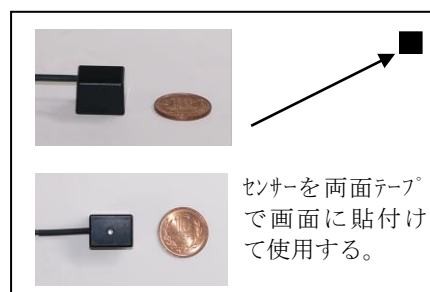


図1. 刺激画像のマーク例
画面周辺(四隅)のどこかに刺激提示時に白くなるようにマークを表示する。

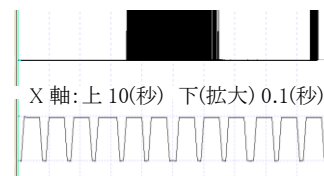


図3. 出力信号2 拡大図
センサーが弱い蛍光灯の光を受けると120(Hz)のパルスとなります。(チャタリング回路無)

※ センサ取り付けの両面テープは、市販品をご利用ください。液晶ディスプレイをご利用の際は、剥がす時、液晶を傷めないようご注意ください。
※ 改善のため仕様変更することがございます。

基礎医学研究用機器のため臨床用途には使用できません。

お問合先 (製造・販売元)

ニホンサンテック株式会社 MaP工房
 〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9-40
 TEL: **06-6652-5984** FAX: 06-7850-3671
<http://www.santeku-map.com/> Mail: post@santeku-map.com

※この記載内容は2016年11月現在の内容です。

NST_MaP#161109